

## 令和7年度 第1回飯山市図書館協議会 会議録（要旨）

- 開催日 令和7年6月5日（木）午後2時～3時20分
- 開催場所 飯山市公民館206教室
- 参集者 委員8名  
飯山市（教育長・事務局）6名

### 1 開 会 図書館長

### 2 辞令交付

教育長より令和7年5月1日付け（1名は6月1日付け）で就任の8名の委員へ辞令交付

### 3 あいさつ

教育長：お忙しい中、飯山市図書館協議会にお集まりいただき誠にありがとうございます。ただいま辞令交付をさせていただきました委員の皆さまには2年間の任期中、飯山市の図書館事業に関わりまして忌憚のないご意見をお寄せいただき、市立飯山図書館の運営にご支援・ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

本は子どものときだけではなく、大人になっても物の見方を深めるほか感性を豊かにしてくれるものであり、市立飯山図書館も多くの方々にご利用いただいています。今後も多くの市民の皆さま方に本に親しんでいただくため、幼稚園・保育園、小・中・高校や地域と図書館が連携していくことが重要であると考えています。

一昨年度ご寄贈いただいた約8,000冊の絵本と児童図書を活用し、昨年度から「絵本で育てるまちづくり事業」に取り組んでいます。昨年度は22名の「いい山えほんコミュニケーター」1期生を養成し、今年度は2期生を募集しているところです。また、今年度はコミュニケーター1期生の皆さまに「おでかけとしょかん」で読み語りをしていただいています。世代を超えた交流が図れる事業への取り組みも始めているところです。

本日は令和6年度の事業報告のほか、令和7年度の事業計画等をご説明させていただきますので率直なご意見をお聞かせいただきたいと思います。

今後も委員の皆さまのお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

### 4 自己紹介

### 5 役員の選出等

#### （1）会長の選出について

会長 西田裕香子委員

図書館には子どもが小さいときからいろいろ関わって足を運び、今回こうし

た機会に恵まれ重要な役をお受けしたと思っています。せっかくの場なので忌憚のないご意見を出していただければいいと思います。よろしくお願いいたします。

(2) 職務代理の指名（会長より指名）

職務代理 三井康幸委員

令和 5 年度に飯山市の小中学校で長野県図書館協会の北信地区図書館教育研究大会を引き受けさせていただいたときに、この協議会にも情報提供させていただいたりしてお世話になりました。任務を自分なりに全うしていければいいと思います。よろしくお願いいたします。

6 協議事項

(1) 令和 6 年度事業報告について

図書館係長説明 次第資料 1 ～ 5 ページ  
～承認～

(2) 令和 7 年度運営方針・事業計画について

図書館長説明 次第資料 6 ～ 7 ページ  
～承認～

(3) 絵本で育てるまちづくり事業について

①絵本で育てるまちづくり事業ロゴについて

司書説明 次第資料 8 ページ

②えほんコミュニケーターによるお出かけおはなし会について

司書説明 次第資料 9 ページ

③令和 7 年度いい山えほんコミュニケーター養成講座について

司書説明

(4) 蔵書点検ボランティア報告について

司書説明 次第資料 10 ページ

(5) 寄贈図書の受入進捗状況について

司書説明 次第資料 11 ページ

(6) 学びのエリア再整備ビジョン策定の提案等について

図書館係長説明 司書説明 次第資料 12 ページ

(7) その他

図書館長：この図書館の8万冊くらいのキャパシティに対し、蔵書が14万冊くらいあり、これを何とかしなければいけないと苦慮しているところです。また、寄贈図書も随時入ってきていて、これらの蔵書は工夫次第だと思っています。

たくさん寄贈された絵本を活用できるまでには作業工程があり、去年は本を拭いてきれいにし、さらにそこへフィルムを貼って番号をつけて登録するというので、それが約3,200冊できています。寄贈いただいた中で1,200冊くらいがこの図書館で既に備えていたものと重複しますので、それは登録しないで有効活用していければいいと考えています。

土日や平日も図書館を利用される方がたくさんおられるので大事にしていきたいと思ひますし、3階の自習室で勉強している学生たちの姿を見ると、ますます使いやすい気楽な施設にしていきたいと思っています。

コミュニケーターは一般の方々が担っていて、今は図書館司書と一緒にやっていますが、そのうちコミュニケーター独自で動いていけるようになればいいと思っています。

事務局：コミュニケーターの関係について、集落サロンとか今は単発の依頼が来始めているところですが、いろいろ活動の場を探していて、皆さまでコミュニケーターに来ていただきたいような機会がありましたらご連絡をお願いします。

会長：私のまちには年配の方が集うサロンがあって、そこでは月に1回かで事業を行っているようなので、そういう小さいコミュニティから声がかかるようになればいいと思います。

事務局：紙芝居とか昔ばなしとかには子どもでは分からないおもしろさがあったり、落語や絵本などいろいろあります。

委員：学校図書館は楽しむための読書と調べもののための読書と両方考えて本を揃えています。が、中学生はあまり本で調べものをしないで、一人一台のタブレットを使って調べものを終わりにしてしまっていて、それではちょっと根拠が曖昧なところもあって、本当は本で確認してほしいけれども、そこがうまくできないということを図書館の先生とも話をしている課題だと思っています。

委員：学校の関係でいうと、自由研究とかはかつては本で調べるというのが主流だったが、今はネット社会になってきているので、パソコン一つで完結してしまうところがあり、整合性が取れる内容なのかどうかは本を活用して調べていくようにしてほしいと思います。図書館にしかない本であったり、そうした本を調べていく中で違う部分に気づけるというのが本のすばらしさであると思いますので、学校教育を通じてそういうところから繋げていただければいいと思います。

委員：コミュニケーターの研修を受講させていただいた。今はいろいろ声がかかり出る機会が増えました。グループで年間を通して城北小学校で読み聞かせをしていて、今朝も行ってきました。学校に地域交流室を設けていただき、そこに集まって情報交換し、各教室で読み聞かせをして地域交流室に戻り、クラスの雰囲気や読んだ本などについて

やり取りをして帰っています。学校から出していただいた日程に沿って、こちらの読み聞かせのメンバーを組んで年間のスケジュールができています。えほんコミュニケーターとしても図書館からお誘いがあり、つながった感じがしてすごくいいと思います。その中で子どもたちが今後どのように身に着けていくのか楽しみであり、それが地域の土台になっていくような感じがします。前々から移動図書館車ゆきつばき号が地域を回っていますが、車がなかったり遠くまで出かけていけない人が増えていくような気がするので、利用率はどうなっているのでしょうか。

事務局：昨年度の実績は、年間で貸出冊数 6, 639 冊、利用人数 1, 362 人で、一昨年度との比較では貸出冊数はちょっと減っていますが、利用人数は増えている状況です。活字の大きい本が結構貸し出されています。

委員：図書館のボランティアについて、先日蔵書点検に参加させてもらいましたが、人数が少な過ぎます。案内が浸透していないと思います。情報に敏感な一部の層にしか伝わっていません。本の点検作業は 2 人 1 組で行うのが理想だと思いますので、人数が少な過ぎると感じました。また、集落サロンについては、木島平村のサロンに参加させてもらっていますが、専門の方がいて、ワハハ体操あり、テナーサックスや二胡やオカリナやアコーディオンの演奏ありと催しが多彩で一段上だと感じました。

館長：活動を引っ張ってくれる人がいます。そうした例を見習っていきたいと思います。

委員：保育園では図書館からの本の貸し出しをしていて、子どもたちは読みたい本とか家で読んでもらいたい本とかを選んで持ち帰り、家での様子を伝えてくれます。えほんコミュニケーターの話があったので、今後はコミュニケーターに来ていただいて本の読み聞かせなどをしてもらえたらいいとも思いました。

委員：高齢の母は大活字本を大いに利用しています。大活字本は高額なので個人では買えないのすごく助かっています。これからますます高齢者は増えるので大活字本を充実していただければと思います。

職務代理：移動図書館車の利用実績の資料を見の中で、いろいろな要因があるので一概には言えないと思いますが、残念ながら貸出冊数や利用人数が 0 人というところが主に午後のところに見られます。昼寝やお茶飲みといったこともあると思いますが、これを午前に戻したらどうなんだろうなどと考えました。せっかくのいい取り組みなのでもっと稼働率を上げることができればいいと思います。

教育長：コミュニケーターの関係では、昨年和歌山県有田川町への先進地視察に参加してもらい、その取り組みが飯山市の参考になっています。昨年は多くの方にコミュニケーター養成講座にご参加いただき、今年度も 10 名以上の申し込みがあるということで、その輪が広がっていくとありがたいということと、その活動の場については、学校関係では地域によっては夏休みや春休みに公民館で子どもたちを集めて開いている寺子屋とか、あるいは城北小学校の放課後子ども教室（アフタースクール）などで活動していただければいいと考えます。また、育成会の行事で子どもたちを集めていろいろ実施していると思いますが、その一つに読み語りがあったりというように、何かの行事と

タイアップしていければいいと考えます。

会長：小さいときに親しんだ本や活字は、結構忘れなかつたり心の隅に残っているもので、娘も社会人になりますが、未だにそのとき図書館で読んだ本が会話の中に出てきます。私も未だにはっきり覚えている絵本があって、それがあんぱんまんです。キラキラのアニメ化される前のやなせたかし先生が描かれた素朴なあんぱんまんの絵本だったのを覚えていて、話の内容も印象的で、あんぱんまんの顔が半分なくなってもジャムおじさんが助けてくれるということなどをすごく覚えています。今の朝ドラの「あんぱん」というロゴも私が覚えているあんぱんの字体で、懐かしさも重ねているところです。そういうことで、小さいお子さんがもう少し図書館に足を運びやすいような雰囲気づくりや、夏休みなどには子どもの居場所にしてももらえればいいと思います。広辞苑が創刊70周年にあたるという中で、例えば「やばい」という言葉のように、その意味合いも変わってきているので、改めて電子媒体ではなくして活字から伝わる言葉の意味、よさということも知っておくことが大事だと思いました。先月は活字博物館に行ってきましたが、そこでは活版印刷の歴史や文字の歴史も見ることができていい機会だったと思っています。印刷した文字を見る機会が減っていますが、そういうものを知ることもいいと思います。電子媒体ではなく紙に書いた文字や真実を知ることからも、小さいときから図書館を利用してほしいと思います。今年は学びのエリアの再整備に向けた取り組みがあるということでは、委員の皆さまにも提案していただければいいと思います。

館長：来週依頼文書を発送します。よろしくお願いいたします。文字を読む、書くといったことでは図書館が担っているところがたくさんあると思います。

## 7 その他

### (1) 第3次飯山市子ども読書活動推進計画について

事務局：第2次飯山市子ども読書活動推進計画については、令和5年度に計画期間が満了しました。その際、この図書館協議会を核として第3次計画の策定委員会を立ち上げ検討した結果、飯山市教育大綱が令和7年度に計画期間の満了を迎えるにあたり、上位計画である教育大綱の見直しの中で第3次計画も見直していこうとの方向付けをしていただき今日に至っています。ついては、今年度、委員の皆さまにはいろいろとご協力を賜る機会が想定されますのでよろしくお願いいたします。

## 7 閉会 図書館館長